

# 友好都市中国湖南省岳陽市から 沼津市へマスク 2 万枚が寄贈されました



【感謝のメッセージを掲げる頼重秀一市長（中央）、沼津国際交流協会から岳陽市への支援金活動をけん引した田中治之会長（右）と鈴木康園元岳陽部会長（左）】

新型コロナウイルス感染症感染拡大により医療物資が不足する岳陽市を支援するために、沼津国際交流協会では広く市民に募った支援金を利用し、岳陽市へ防護服や N95 マスクをはじめとする医療物資などを支援しました。156 名の感染者が出た岳陽市では、3 月 8 日に最後の入院患者が退院し感染 0 を達成しましたが、その後、沼津市で感染者が確認されたことや日本での感染者が増加している状況を心配した岳陽市から“感謝の意を示したい”と日本向けの品質を保持している岳陽市内の工場で生産されたマスク送付の申し出がありました。“市内の必要とする部署に的確に配布して欲しい”という田中会長の思いから、マスクは岳陽市から直接沼津市へ寄付され、5 月 18 日沼津市へ到着し受取式を行いました。

頼重市長より『長きに渡る友情と温かな支援に感謝します』とのメッセージが、田中会長より『困ったときに助けあえるのが真の友、またお会いできるのを楽しみにしています』とのメッセージが岳陽市へ伝えられ、また、友好都市提携 25 周年（平成 22 年）時に岳陽市より沼津市へ贈られた記念品である掛け軸について、頼重市長より『海内存知己 天涯若比隣』は「心の知れた友がいれば 世界のどこにいても近しく感じる」の意で、互いに助け合う今の関係をまさしく体現していることから、10 年前のこの贈り物に縁を感じるとの紹介がありました。このマスクは、市内医療機関や福祉施設にて感染防止対策に活用される予定です。

岳陽市でも沼津市役所での受取式の様子が報道されました。

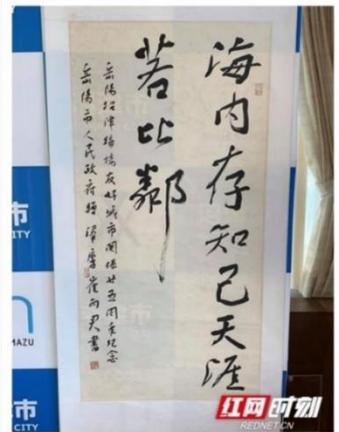
## 岳陽市

投稿者: 岳陽市

投稿日時: 2020-05-19 16:10:29

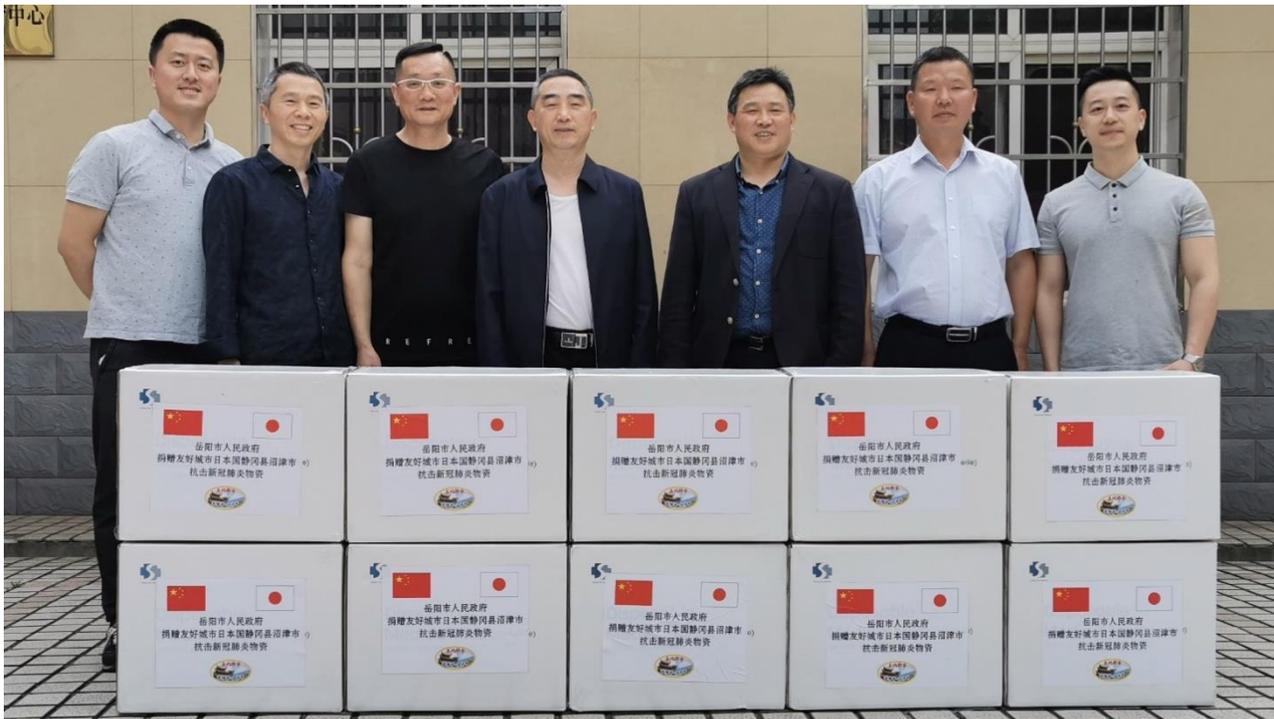


5月19日、日本沼津市長頼重秀一（中）、沼津国際友好交流協会会長田中治之（左）、沼津国際友好交流協会岳陽部会長鈴木康園（右）出席物資受取儀式。



贈呈現場展示の书法作品「海内存知己 天涯若比隣」は2010年岳陽沼津結好25周年時岳陽贈給沼津の記念品。

紅網時刻岳陽5月19日訊（記者 叶芬）攜手抗疫，共克時艱。4月30日，岳陽市以市人民政府名义，向日本沼津市捐贈援助了一次性醫用口罩20000個。5月18日，援助物資順利運抵沼津。19日，沼津市長頼重秀一、沼津國際友好交流協會會長田中治之出席了物資受取儀式。



【岳陽市から沼津市へ寄贈するマスク 2 万枚の前で岳陽市外事弁公室の職員の方々の皆さん】右から

- 江炫龍 岳陽市外事弁公室 外事管理科副科長
- 辜英宏 岳陽市外事弁公室 対外服務交流センター主任
- 姜 維 岳陽市外事弁公室 副調研員
- 王詩寬 岳陽市外事弁公室 専任副主任
- 連習群 岳陽市外事弁公室 四級調研員
- 廖文君 岳陽市外事弁公室 渉外礼賓科科长
- 張 弛 岳陽市外事弁公室 港澳事務科副科長

**岳陽市からマスク 2 万枚が届く**  
 中国での感染拡大期に沼津市側からの寄贈に返礼  
 沼津市の友好都市、中国岳陽市からサージカルマスク 2 万枚が市に寄贈された。先月 30 日、岳陽市から発送され、到着。岳陽市に到着を報告するための写真撮影などが 19 日、市役所特別応接室で行われ、頼重秀一市長と沼津国際交流協会  
 田中治之会長、同協会元岳陽部会長の鈴木康樹さんが出席した。  
 田中会長によれば、新型コロナウイルス感染症が中国で広まった 1 月から岳陽市側関係者と連絡を取り合い、必要なものを尋ねた際、「マスクなどを送っていただけたら、ありがたい」との返事だったことから、同月 30 日に募金などの支援活動を始め、2 月 6 日にマスク 1 万枚と、つなぎ服 10 枚などの医療物資を送付。4 月 14 日には支援金 35 万 2017 円を送った。  
 その後、4 月に沼津市内で感染者が確認されたことや日本国内での感染者が増加している状況に、今度は岳陽市側から「感謝の意を示したい」とマスク送付の申し出があった。  
 2 万枚のマスクは岳陽市内の工場で生産されたもので、岳陽市外事工作委員会弁公室の職員からは「沼津市内の医療機関や福祉施設などで役立ててほしい。岳陽と沼津両市の友好が時代を超えて長く続きますように」とのメッセージが寄せられた。  
 マスクの入った段ボール箱 10 箱を前に記念撮影した後、重市長は「このように、両市の絆が大きくなることを願っています」とし、田中会長は「これに機会に岳陽市と沼津市の友情が深まったのではないかと。素晴らしい国際交流ではないか」と話した。  
 今年、沼津市と岳陽市は 1985 年の友好都市提携から 35 周年を迎え、岳陽市から公式訪問団を招く記念事業などを予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施時期は未定だといふ。

**マスクなど支援続々**  
 沼津市中国・岳陽市や団体からの感染拡大を受け、沼津市に 19 日、複数の団体が市民からマスクなどの支援物資が続々と寄せられた。  
 友好都市協定を結ぶ中国・岳陽市からはサージカルマスク 2 万枚が届いた。中国で新型コロナウイルス感染症が拡大していた際に沼津国際交流協会（田中治之会長）がマスク 1 万枚や支援金を贈った。日本での感染拡大を心配した岳陽市から「感謝の意を示したい」と返礼の申し出があったという。田中会長は「友好都市としての絆が強まった。必要としている場所でも有効に活用してほしい」と話した。  
 中国・岳陽市から発送された 2 万枚のマスクと両市の職員、沼津市提供したマスク 8 千枚、市内の有志 4 人が手作りマスク 200 枚、サンオネットが福祉施設利用者向けにアイスクリーム 4 個を寄贈した。

岳陽市の寄付について、静岡新聞 5 月 20 日(右)ではマスク発送時の写真付きで、沼津朝日新聞 2020 年 5 月 21 日(左)では田中会長のコメントが詳しく紹介されました。